

間質圧上昇による癌促進メカニズムの解明と治療応用

① アピールポイント



講師
徳田 深作

がん組織では間質圧が上昇しており癌促進に寄与していますが（図1）、がん微小環境の中で「間質圧」が果たす役割はこれまであまり注目されてきませんでした。

② 研究の出口のイメージ

本研究では様々な角度からアプローチして間質圧上昇による癌促進メカニズムに明らかにして、新たながん治療戦略を開拓することを目指しています（図2）。

キーワード

間質圧、肺癌、タイトジャンクション、創薬研究

研究内容

ほとんどすべてのがん組織では間質圧が上昇しています。上皮細胞に間質側から圧を加えると腫瘍と共通の形質が引き起こされることが分かっています（図1）。しかし、「間質圧の上昇」が腫瘍の病態にどのように関わっているのかについては未だによく分かっていません。

肺癌は1993年以降がんの部位別死因トップとなっており、治療成績を改善させるためには新たな方向からアプローチする治療戦略の開拓が必要と考えられます。

本研究ではがん微小環境の中でこれまで注目されてこなかった「間質圧」が腫瘍の病態に果たす役割やそのメカニズムを明らかにして、新たな治療戦略を開拓することを目指しています（図2）

図1

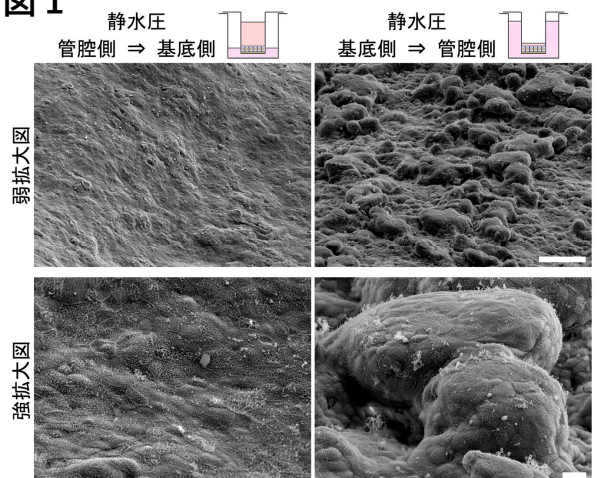


図2

